
伊勢崎佐波地区 景気動向調査

No.33 2011. 4～6月期

Contents

第33回伊勢崎佐波地区 景気動向調査……………	全業種で業況判断D.Iが悪化
特別調査……………	「東日本大震災からの復興と中小企業」
Column……………	いせさきフロンティア27【 高月照雄 】 ～魔法のような球体洗濯機の発明者～



伊勢崎商工会議所



アイオーしんきん

1. 業況

全業種で業況判断 D.I.が悪化

今期の全業種での企業の景況感を示す業況判断 D.I.は東日本大震災発生後の景気の落ち込みを反映して△28.3と、前期調査(2011. 1～3:△11.3)との比較で17.0ポイント悪化、前年の同時期(2010. 4～6:△17.5)との比較では10.8ポイント悪化している結果となりました。一方、独立行政法人中小企業基盤整備機構が実施し、日本商工会議所他2団体が実査した全国調査との比較では、全業種における業況判断D.I.の全国値△39.7を11.4ポイント上回り、また、業種別の業況判断D.I.も、すべての業種で全国値を上回る結果となりました。

業種別の業況判断 D.I.は、前期調査との比較では、製造業が△25.9(前期:8.6)で 34.5 ポイント悪化、サービス業が△27.9(前期:△12.9)で 15.0 ポイントと悪化となるなど、全ての業種で悪化しております。業況判断 D.I.は、上位から建設業、製造業、サービス業、卸売業、小売業の順となりました。

来期(2011.7～9)の業況判断見通しは、全業種でみると D.I.値は△26.9 で、今期(△28.3)と比較して 1.4 ポイントと僅かながら改善の見通しを示しています。また、業種別に見ると、建設業が 7.0 ポイントの悪化、卸売業が今期と変わらない予想となっているものの、製造業が 2.6 ポイント、小売業が 5.0 ポイント、サービス業が 2.3 ポイント改善の見通しとなっております。

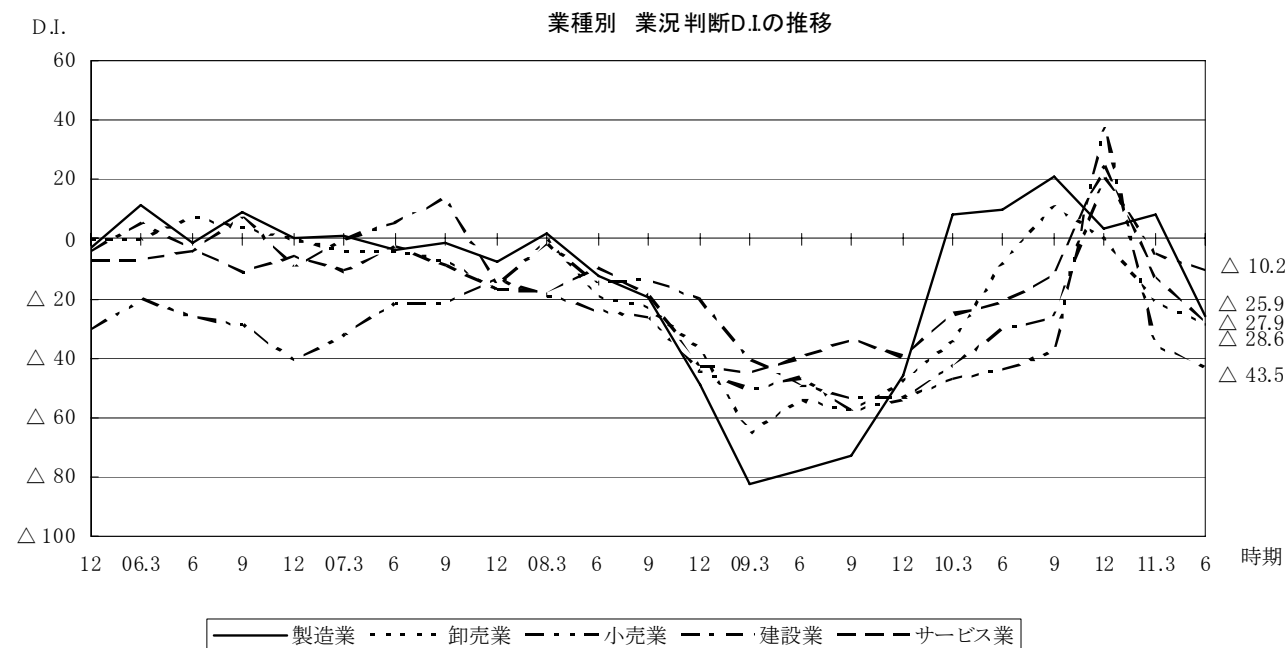
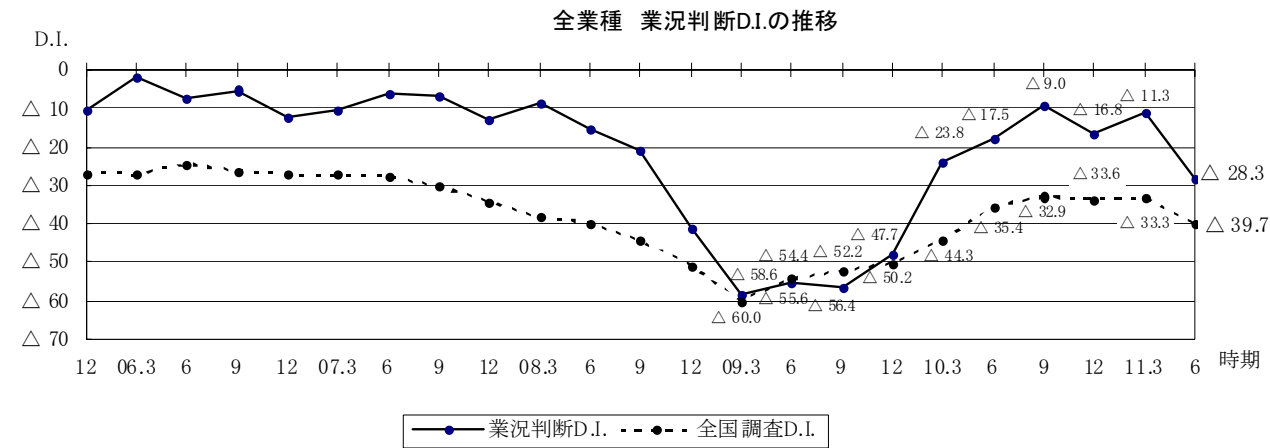
業種別天気図

	前 期 2011.1～3月	今 期 2011.4～6月	全 国 調 査 2011.4～6月	来 期 見 通 し 2011.7～9月
全 業 種				
製 造 業				
卸 売 業				
小 売 業				
建 設 業				
サ ー ビ ス 業				

(この天気図は、景気指標を総合的に判断して作成したものです。また、全国調査は日本商工会議所の調査によるものです。)

好調←								→低調
天気	快晴	晴れ	曇り一部晴れ	曇り	本曇り	小雨	雨	天気
D. I.	100.0～35.0	34.9～20.0	19.9～7.0	6.9～△7.0	△7.1～△20.0	△20.1～△35.0	△35.1～△100.0	D. I.

2. 業況判断 D.I.の推移



(参考) 業種別業況判断 D.I.

(対前年同期比判断 D. I.)

	前 期 2011. 1～3	今 期 2011. 4～6	全 国 調 査 2011. 4～6	来 期 見 通 し 2011. 7～9
全 業 種	△11.3	△28.3	△39.7	△26.9
製 造 業	8.6	△25.9	△31.4	△23.3
卸 売 業	△21.4	△28.6	△41.6	△28.6
小 売 業	△35.9	△43.5	△47.9	△38.5
建 設 業	△5.2	△10.2	△35.9	△17.2
サ ー ビ ス 業	△12.9	△27.9	△41.2	△25.6

(全国調査は日本商工会議所の調査によるものです。)

3. 売上高、採算、従業員増減の状況

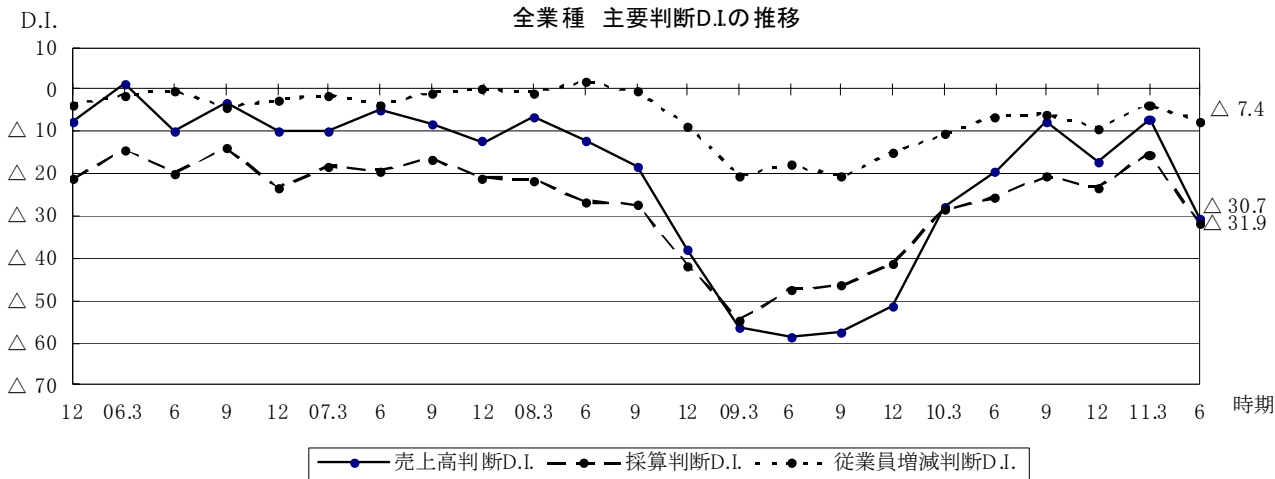
(対前年同期比判断D.I.)

今期の全業種での売上高判断 D.I.は△30.7 で、前期(2011.1～3:△7.1)比 23.6 ポイント悪化、採算判断 D.I.は△31.9 で前期(△15.3)比 16.6 ポイント悪化となりました。

また、従業員増減判断 D.I.も、△7.4 で前期(△3.7)比 3.7 ポイント悪化となりました。

来期は、売上高判断D.I.は△29.3 で、今期との比較で 1.4 ポイント改善、採算判断D.I.は△29.1 で同 2.8 ポイント改善となり、また、従業員増減判断 D.I.も△4.6 と 2.8 ポイント改善する見通しを示しております。

	前 期	今 期	来 期 予 定
売 上 高	△7.1	△30.7	△29.3
採 算	△15.3	△31.9	△29.1
従 業 員 増 減	△3.7	△7.4	△4.6



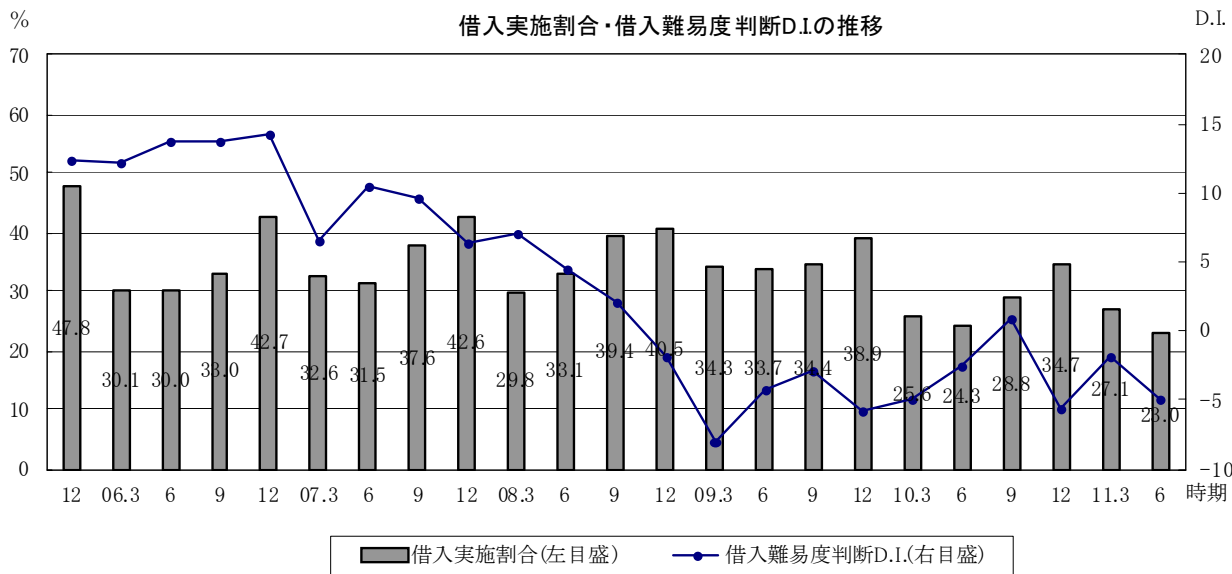
4. 借入金の状況

今期借入を実施した企業の割合は 23.0%と、前年の同時期(2010.4～6:24.3%)と比較して 1.3 ポイント減少となりました。来期借入を予定する企業の割合は 26.9%と今期より 3.9 ポイント増加となる見込です。

また、今期の借入難易度判断 D.I.は△4.9 で、前年の同時期(△2.6)との比較では 2.3 ポイント悪化し、借入が困難と判断する企業の割合が増加したことを示しています。

	前 期	今 期	来 期 予 定
借 入 の 実 施	27.1%	23.0%	26.9%

借 入 難 易 度 判 断 D . I .	△4.9
-----------------------	------



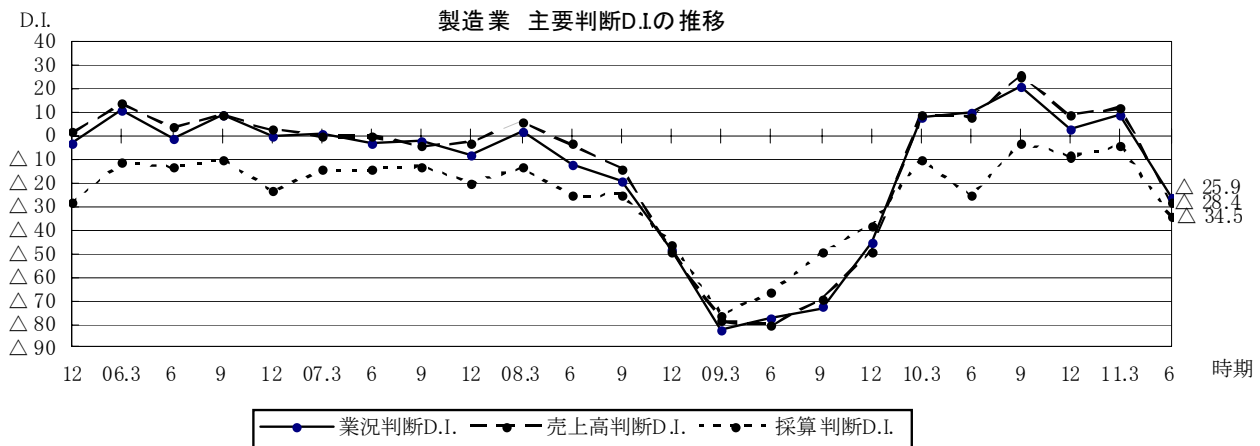
1. 業況

今期の製造業の業況判断 D.I.は△25.9 となり、2009 年 12 月期以来 6 四半期ぶりにマイナスに転じました。前期(2011.1～3:8.6)との比較では 34.5 ポイント悪化、前年の同時期(2010.4～6:9.7)との比較では 35.6 ポイントと大幅な悪化となりました(中小企業基盤整備機構による日本商工会議所他が実査した全国調査との比較では、当地の業況判断D.I.は全国値を5.5ポイント上回っておりますが、売上高・資金繰り等は全国値を下回る結果となりました)。また、原材料単価及び従業員増減を除く全ての判断項目も前期比悪化となっております。

(対前年同期比判断 D.I.)

	前 期	今 期	来期見通し	全 国 調 査
業 況	8. 6	△25. 9	△23. 3	△31. 4
売上(加工)高	12. 1	△28. 4	△23. 3	△27. 2
資 金 繰 り	△0. 9	△24. 1	△23. 3	△22. 5
採 算	△4. 3	△34. 5	△27. 0	△35. 1
原材料単価	34. 8	33. 0	30. 4	45. 0
原材料在庫	△0. 9	△18. 3	△13. 0	△8. 5
従業員増減	0. 9	3. 5	△3. 5	△3. 6
設備操業率	5. 2	△21. 6	△21. 6	△20. 7

来期については、従業員増減及び設備創業率を除く全ての判断項目で、今期よりも改善を見込む企業の割合が増加しております。



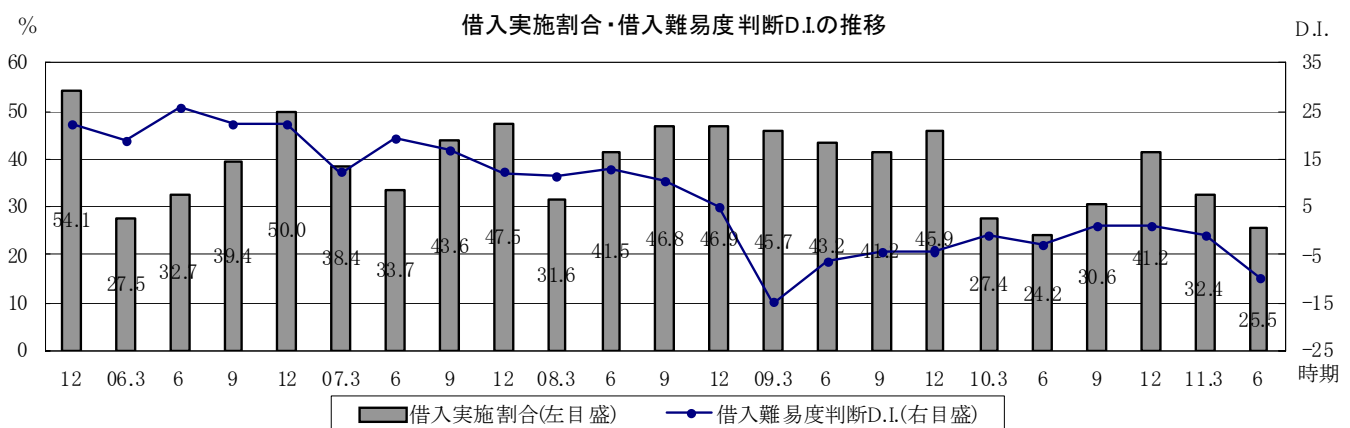
2. 借入金の状況

今期借入を実施した企業の割合は 25.5%と、前年の同時期(2010.4～6:24.2%)と比較して 1.3 ポイント増加となりました。来期借入を予定する企業の割合は 36.3%と、今期より 10.8 ポイント増加する見込です。

	前 期	今 期	来 期 予 定
借入の実施	32. 4%	25. 5%	36. 3%

借入難易度判断 D.I.	△9. 9
--------------	-------

また、今期の借入難易度判断 D.I.は△9.9 で、前年同時期(△3.0)との比較では 6.9 ポイント悪化し、借入を困難とする企業の割合が増加しております。

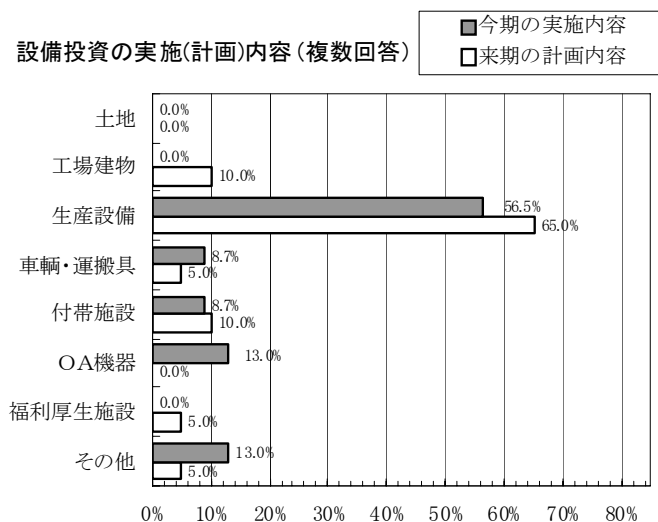


3. 設備投資の状況

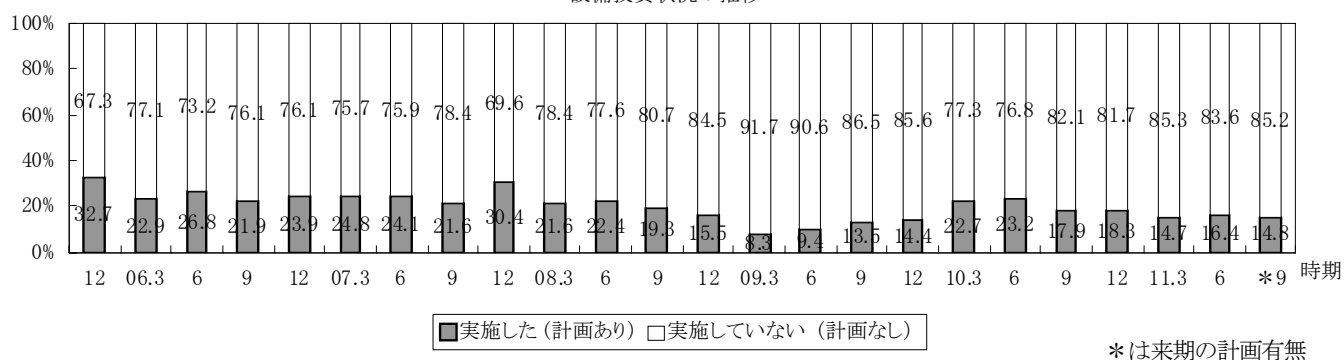
今期、設備投資を実施した企業の割合は 16.4%と、前期(14.7%)比 1.7 ポイント増加しました。設備投資の内訳は、生産設備が 56.5%、OA 機器、その他が各々 13.0%、車輛・運搬具、付帯施設が各々 8.7%でした。

来期につきましては、14.8%の企業が設備投資を計画しております。設備投資の内訳は、生産設備が 65.0%、工場建物、付帯施設が各々 10.0%、車輛・運搬具、福利厚生施設、その他が各々 5.0%となっております。

設備投資の実施(計画)内容(複数回答)



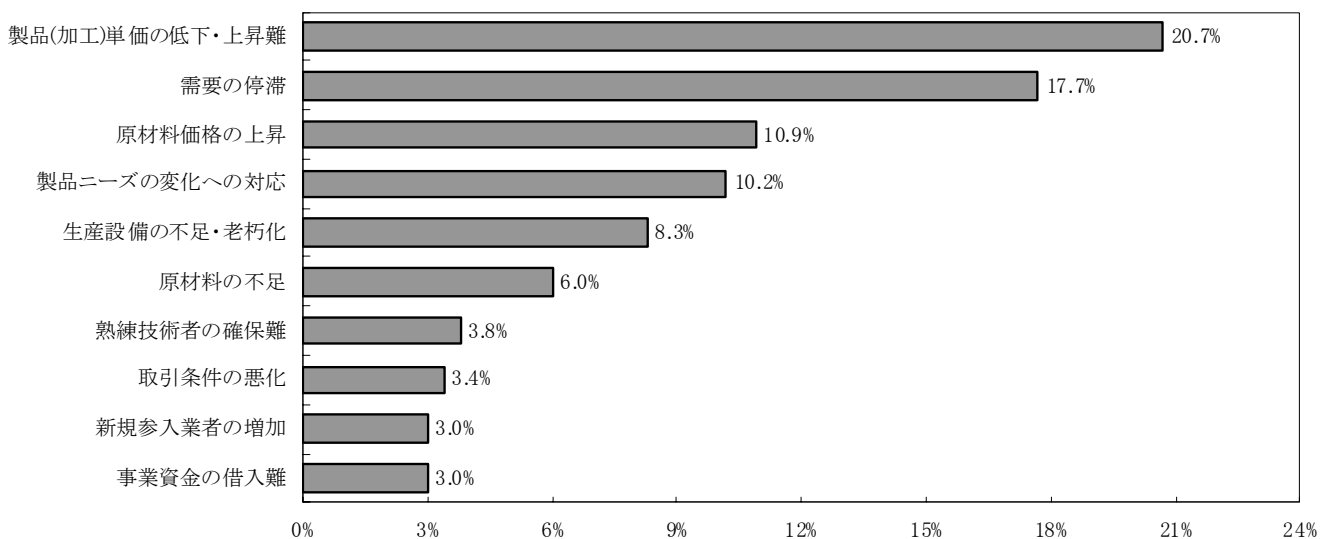
設備投資状況の推移



4. 経営上の問題点

経営上の問題点は、第1位が「製品(加工)単価の低下・上昇難」で 20.7%、第2位が「需要の停滞」17.7%、第3位が「原材料価格の上昇」で 10.9%という結果になりました。

今期直面している経営上の問題点(複数回答、上位10位)



1. 業況

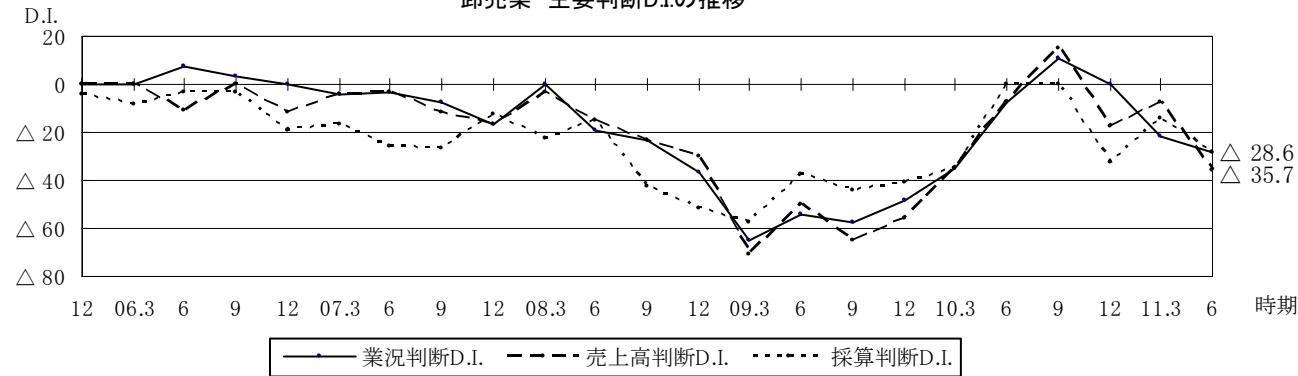
今期の卸売業の業況判断 D.I.は△28.6 となり、前期(2011. 1～3:△21.4)との比較では 7.2 ポイント、前年の同時期(2010.4～6:△7.7)との比較では 20.9 ポイント悪化となりました(中小企業基盤整備機構による日本商工会議所他が実査した全国調査との比較では、当地の業況判断D.I.は全国値を13.0ポイント上回り、また、その他の項目でも、売上単価及び従業員増減を除いた判断項目が全国値を上回る結果となりました)。また、その他の項目でも、仕入単価を除いた全ての判断項目が前期比悪化となりました。

来期は、資金繰りを除いた全ての判断項目で D.I.値が今期を上回るか、または今期並みの見通しを示しております。

(対前年同期比判断 D.I.)

	前 期	今 期	来期見通し	全 国 調 査
業 況	△21. 4	△28. 6	△28. 6	△41. 6
売 上 高	△7. 1	△35. 7	△35. 7	△42. 4
資 金 繰 り	△3. 6	△21. 4	△22. 2	△22. 1
採 算	△14. 3	△28. 6	△28. 6	△40. 1
売 上 単 価	0. 0	△25. 0	△14. 3	△9. 5
仕 入 単 価	29. 6	17. 9	14. 3	27. 0
在 庫 数 量	△11. 1	△14. 8	△14. 8	△15. 9
従 業 員 増 減	△3. 7	△11. 1	△7. 4	△6. 6

卸売業 主要判断D.I.の推移



2. 借入金の状況

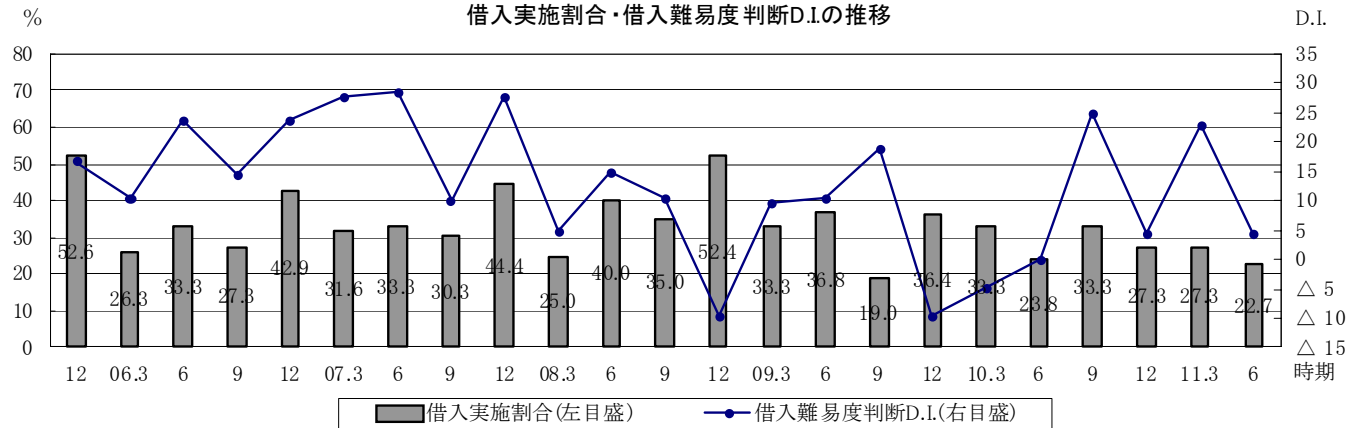
今期借入を実施した企業の割合は 22.7%と、前年の同時期(2010.4～6:23.8%)と比較して 1.1 ポイント減少となりました。来期借入を予定する企業は 27.3%と、今期より 4.6 ポイント増加する見込です。

また、今期の借入難易度判断 D.I.は 4.5 で、前年同時期(0.0)との比較では 4.5 ポイント上昇し、借入を容易とする企業の割合が増加しております。

	前 期	今 期	来 期 予 定
借 入 の 実 施	27. 3%	22. 7%	27. 3%

借 入 難 易 度 判 断 D . I .	4. 5
-----------------------	------

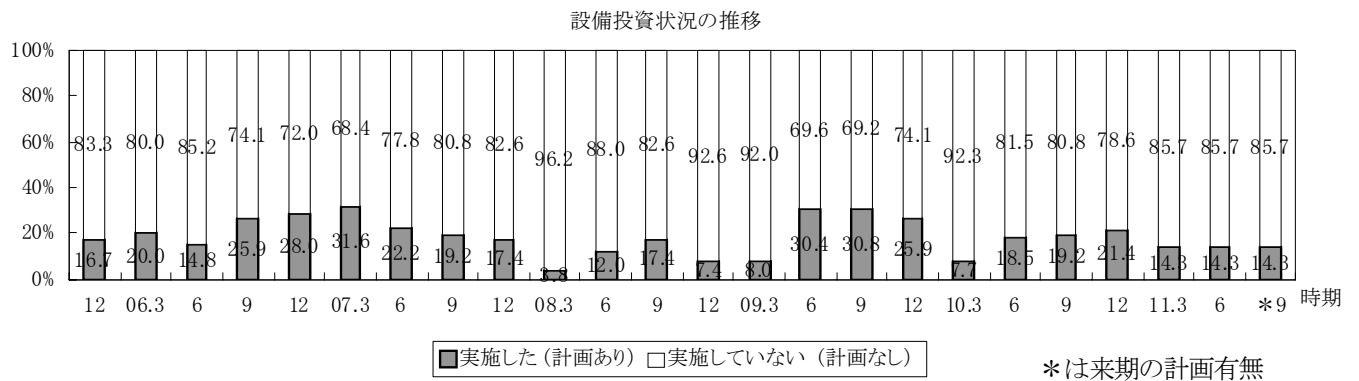
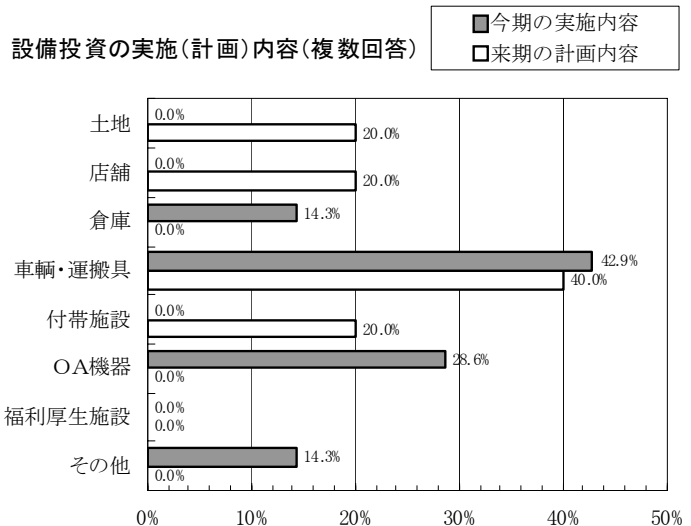
借入実施割合・借入難易度判断D.I.の推移



3. 設備投資の状況

今期、設備投資を実施した企業の割合は 14.3%と前期(14.3%)比変動はありませんでした。設備投資の内訳は、車両・運搬具が 42.9%、OA機器が 28.6%、倉庫、その他が各々14.3%でした。

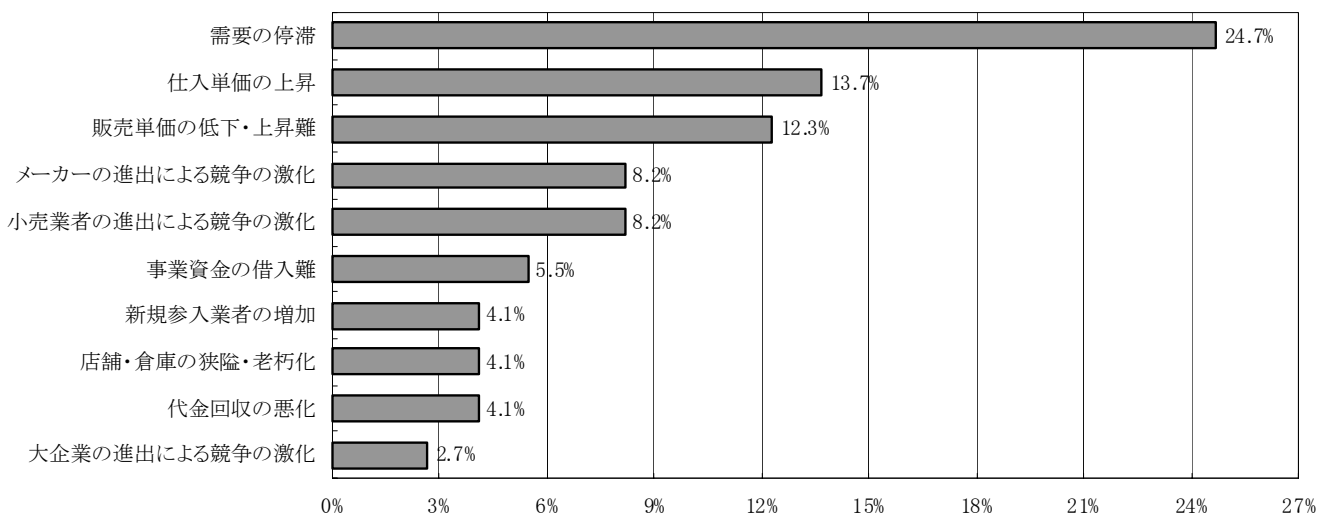
来期につきましても、今期と同じく 14.3%の企業が設備投資を計画しております。設備投資の内訳は、車両・運搬具が 40.0%、土地、店舗、付帯施設が各々20.0%となっております。



4. 経営上の問題点

経営上の問題点は、第1位が「需要の停滞」で 24.7%、第2位が「仕入単価の上昇」で 13.7%、第3位が「販売価格の低下・上昇難」で 12.3%という結果になりました。

今期直面している経営上の問題点(複数回答、上位10位)

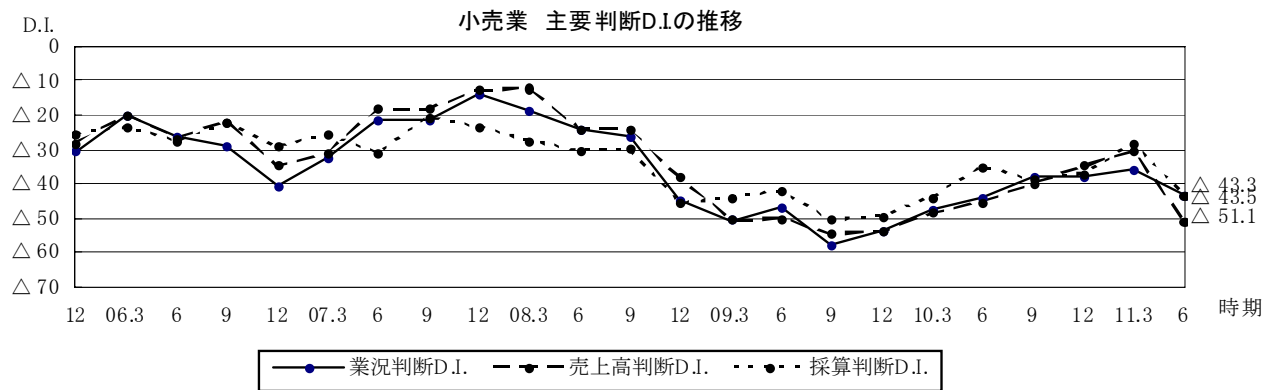


1. 業況

今期の小売業の業況判断 D.I.は△43.5 となり、前期(2011.1～3:△35.9)との比較では 7.6 ポイント悪化となりましたが、前年の同時期(2010.4～6:△44.2)との比較では 0.7 ポイントと僅かながら改善となりました（中小企業基盤整備機構による日本商工会議所他が実査した全国調査との比較では、当地の業況判断 D.I.は全国値を4.4ポイント上回る結果となりました）。また、仕入単価を除く全ての D.I.値も前期比悪化となりました。

来期は全ての項目で D.I.値が改善の見込です。

(対前年同期比判断 D.I.)				
	前 期	今 期	来期見通し	全 国 調 査
業 況	△35. 9	△43. 5	△38. 5	△47. 9
売 上 高	△30. 4	△51. 1	△47. 3	△47. 4
資 金 繰 り	△21. 7	△26. 4	△17. 8	△33. 9
採 算	△28. 3	△43. 3	△36. 0	△48. 0
売 上 単 価	△30. 4	△42. 4	△41. 8	△40. 4
仕 入 単 価	9. 8	2. 2	1. 1	5. 4
在 庫 数 量	△13. 0	△23. 1	△21. 1	△27. 1
従業員増減	△2. 2	△7. 9	△5. 7	△6. 1



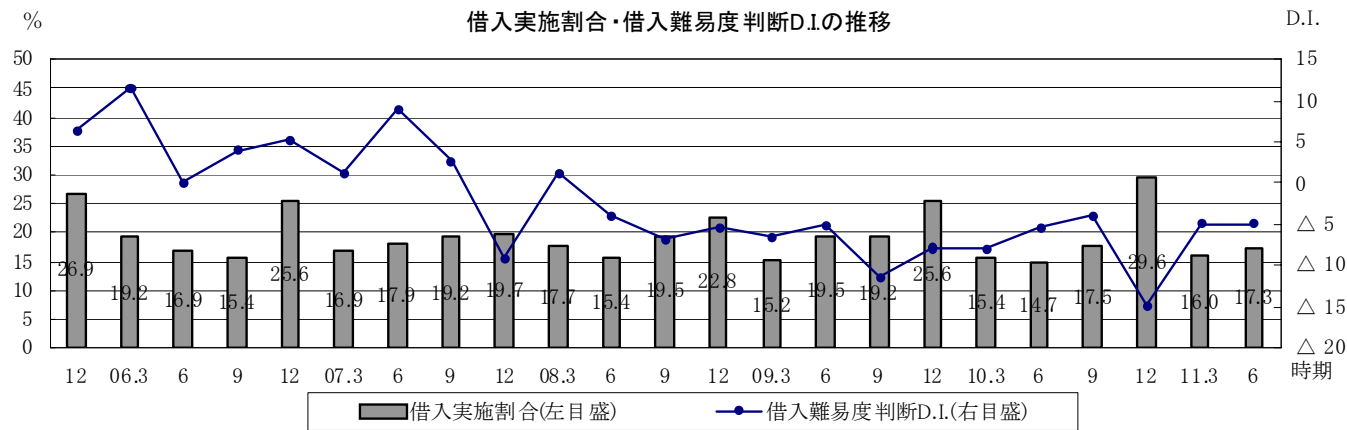
2. 借入金の状況

今期借入を実施した企業の割合は 17.3%と、前年の同時期(2010.4～6:14.7%)と比較して 2.6 ポイント増加となりました。来期借入を予定する企業は 14.8%と、今期より 2.5 ポイント減少する予定です。

また、今期の借入難易度判断D.I.は△4.9と、前年同時期(△5.4)との比較では 0.5 ポイント改善し、借入が困難であると判断する企業の割合が僅かながら減少しました。

	前 期	今 期	来 期 予 定
借入の実施	16. 0%	17. 3%	14. 8%

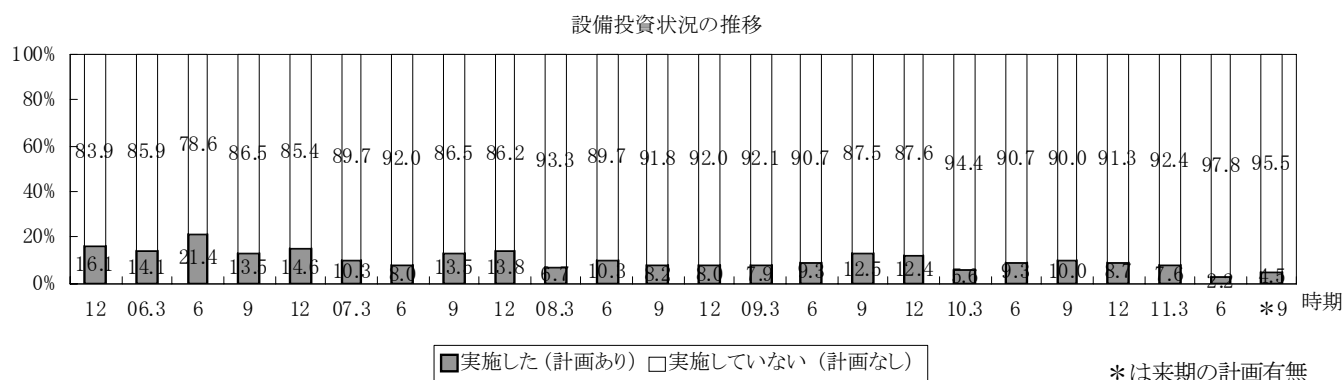
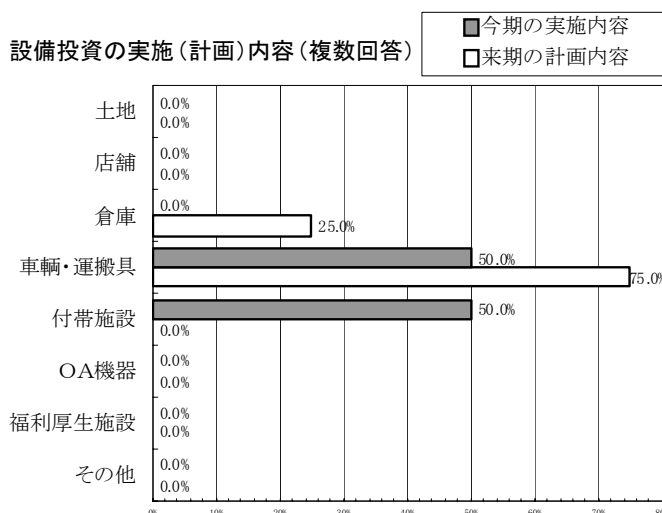
借入難易度判断 D . I .	△4. 9
-----------------	-------



3. 設備投資の状況

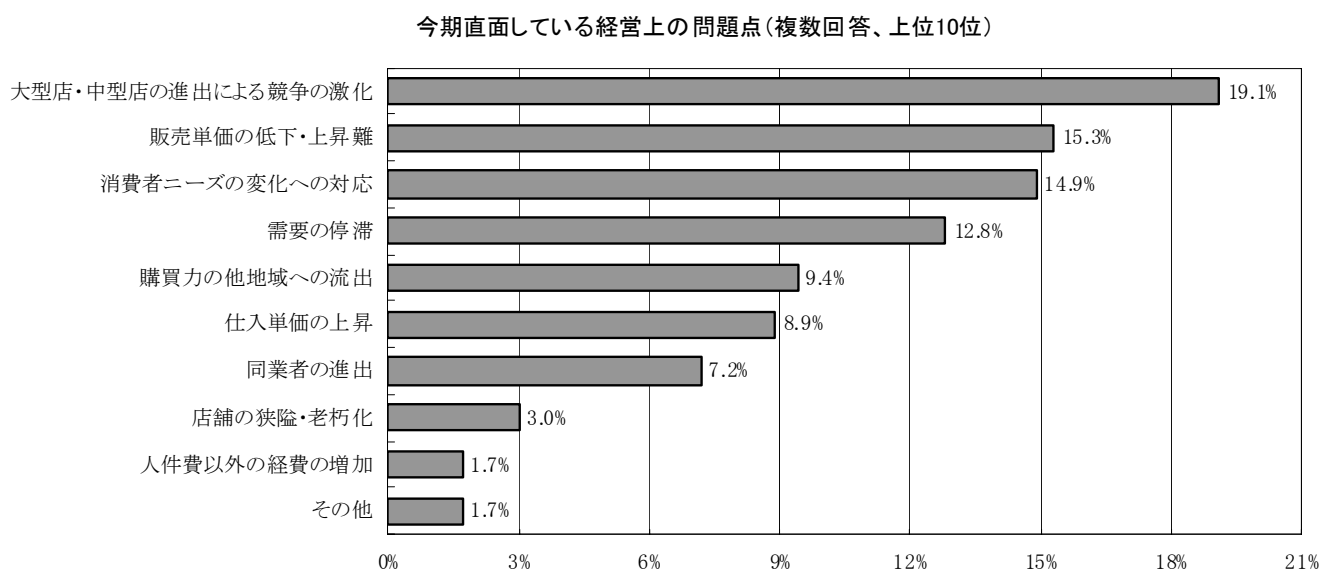
今期、設備投資を実施した企業の割合は 2.2%と前期(7.6%)比 5.4 ポイント減少となりました。設備投資の内訳は、車両・運搬具、付帯施設が各々50.0%となりました。

来期につきましては、設備投資を計画する企業の割合は 4.5%で、今期と比較して 2.3 ポイント増加の予定です。設備投資の内訳は、車両・運搬具が 75.0%、倉庫が 25.0%となっております。



4. 経営上の問題点

経営上の問題点は、第1位が「大型店・中型店の進出による競争の激化」で 19.1%、第2位が「販売単価の低下・上昇難」で 15.3%、第3位が「消費者ニーズの変化への対応」で 14.9%という結果になりました。



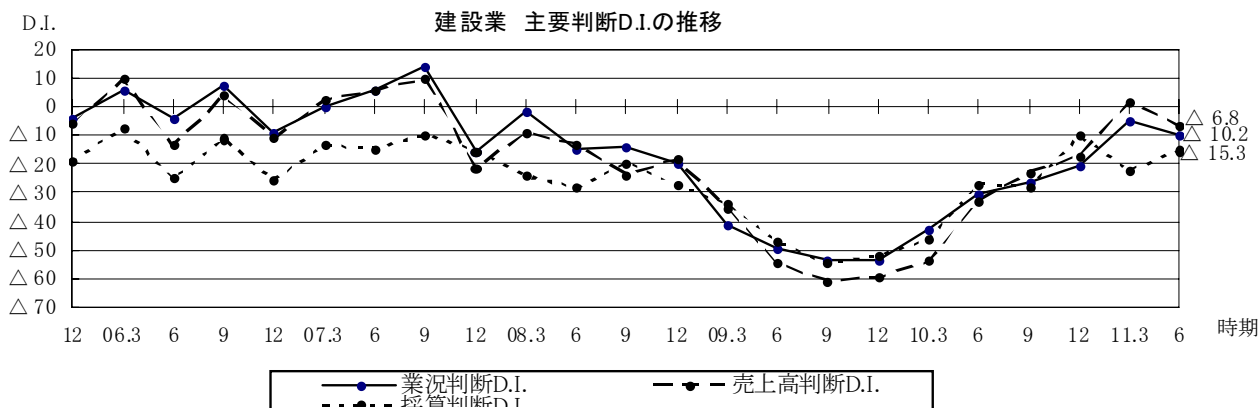
1. 業況

今期の建設業の業況判断 D.I.は△10.2 となり、前期(2011.1～3:△5.2)との比較では 5.0 ポイント悪化となっているものの、前年同時期(2010.4～6:△30.4)との比較では 20.2 ポイント改善している結果となっております(中小企業基盤整備機構が実施した日本商工会議所の実査による全国調査との比較でも、当地の業況判断 D.I.は、全国値を 25.7 ポイント上回る結果となりました)。また、他の判断項目でも、採算及び受注額を除く全ての項目が前期比悪化しており、特に材料単価の上昇が顕著となっております。

来期は、業況判断 D.I.をはじめとして売上高、採算等、主要項目が今期よりもさらに悪化の見通しとなっております。

(対前年同期比判断 D.I.)

	前 期	今 期	来期見通し	全 国 調 査
業 況	△5. 2	△10. 2	△17. 2	△35. 9
売 上 高	1. 7	△6. 8	△17. 2	△31. 3
資 金 繰 り	△13. 8	△15. 3	△10. 3	△24. 2
採 算	△22. 4	△15. 3	△24. 1	△43. 8
受 注 額	△8. 6	△8. 6	△15. 8	△35. 3
材 料 単 価	10. 3	51. 7	40. 4	48. 7
従業員増減	△5. 2	△11. 9	△5. 3	△8. 1



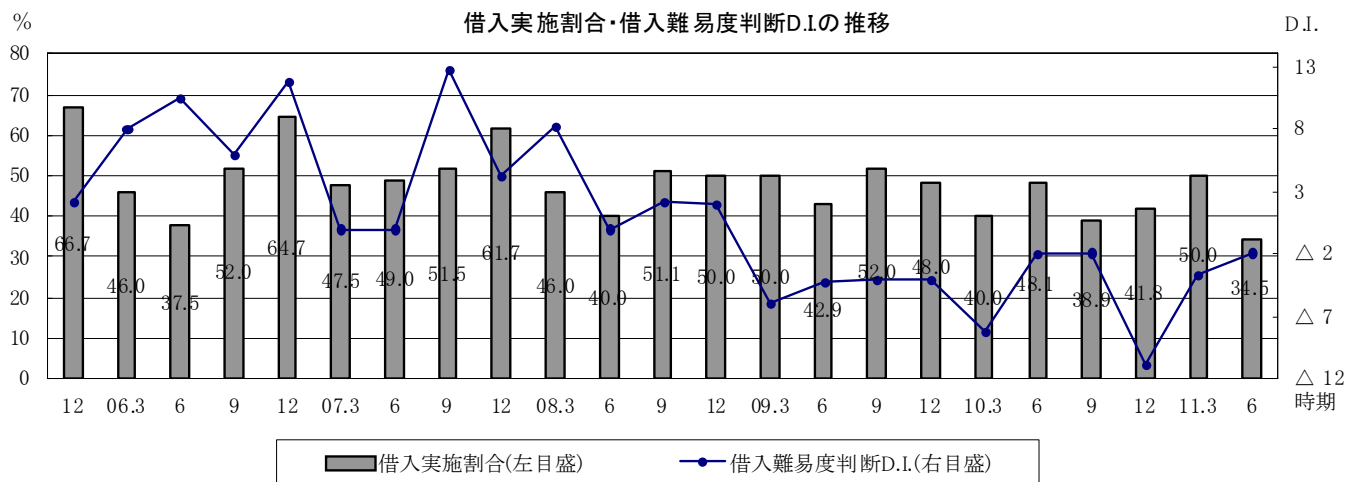
2. 借入金の状況

今期借入を実施した企業の割合は 34.5%と、前年の同時期(2010.4～6:48.1%)と比較して 13.6 ポイント減少となりました。来期借入を予定する企業は 32.7%と、今期より 1.8 ポイント減少する予定です。

また、今期の借入難易度判断 D.I.は△1.9 で、前年の同時期(△2.0)との比較では 0.1 ポイント上昇し、借入が困難と判断する企業の割合が僅かながら減少しました。

	前 期	今 期	来 期 予 定
借 入 の 実 施	50. 0%	34. 5%	32. 7%

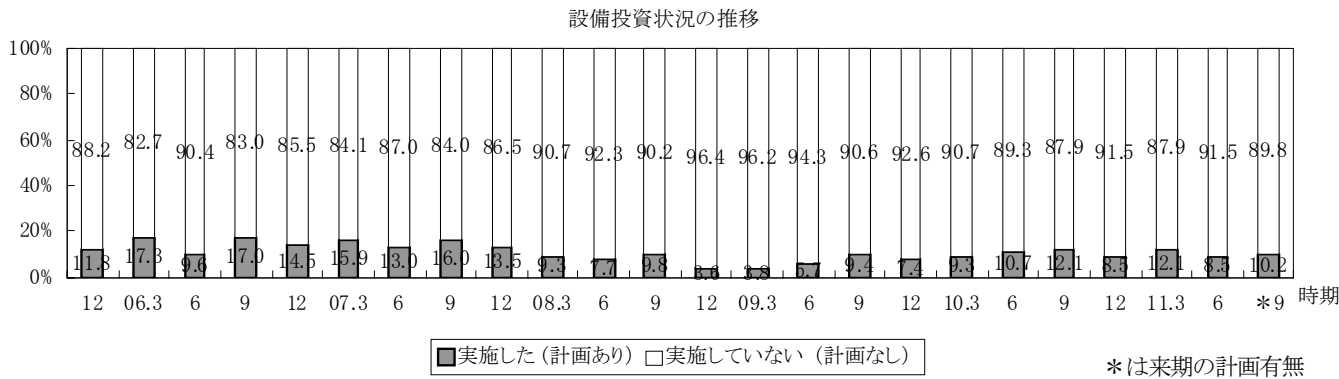
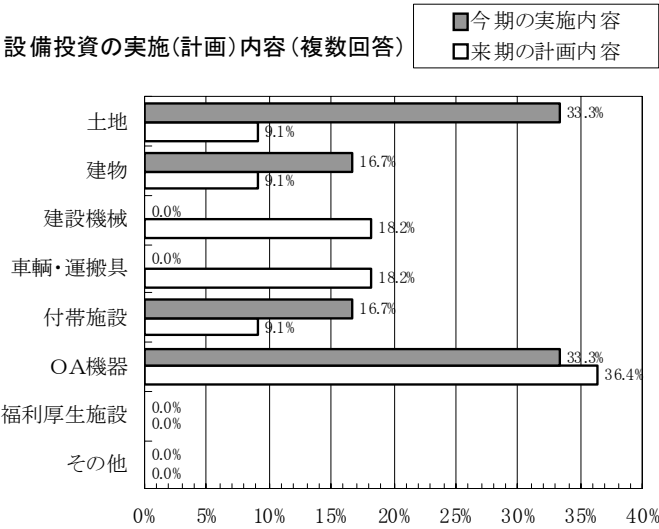
借 入 難 易 度 判 断 D . I .	△1. 9
-----------------------	-------



3. 設備投資の状況

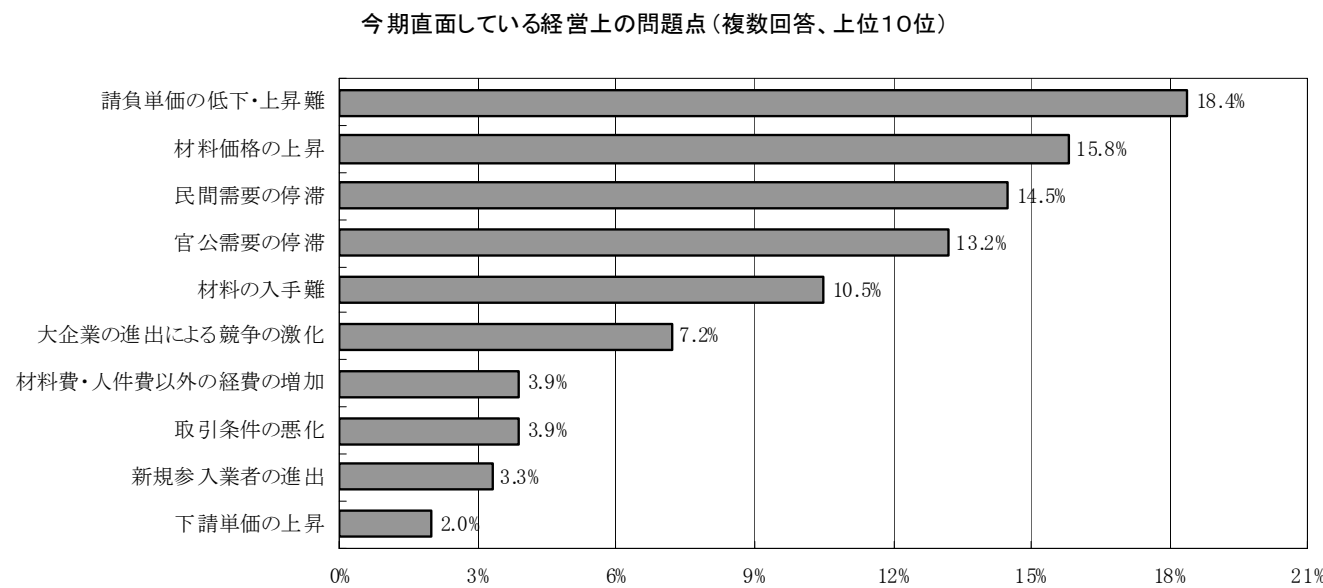
今期、設備投資を実施した企業の割合は 8.5%と前期(12.1%)比 3.6 ポイント減少となりました。設備投資の内訳は、土地、OA 機器が各々33.3%、建物、付帯施設が各々16.7%でした。

来期につきましては、設備投資を計画する企業の割合は 10.2%で、今期と比較して 1.7 ポイント増加の予定です。設備投資の内訳は、OA機器が36.4%、建設機械、車両・運搬具が各々18.2%、土地、建物、付帯施設が各々9.1%となっております。



4. 経営上の問題点

経営上の問題点は、第1位が「請負単価の低下・上昇難」で18.4%、第2位が「材料価格の上昇」で15.8%、第3位が「民間需要の停滞」で14.5%という結果になりました。



サービス業 2011. 4～6月期（回答86社…回答率100. 0%）

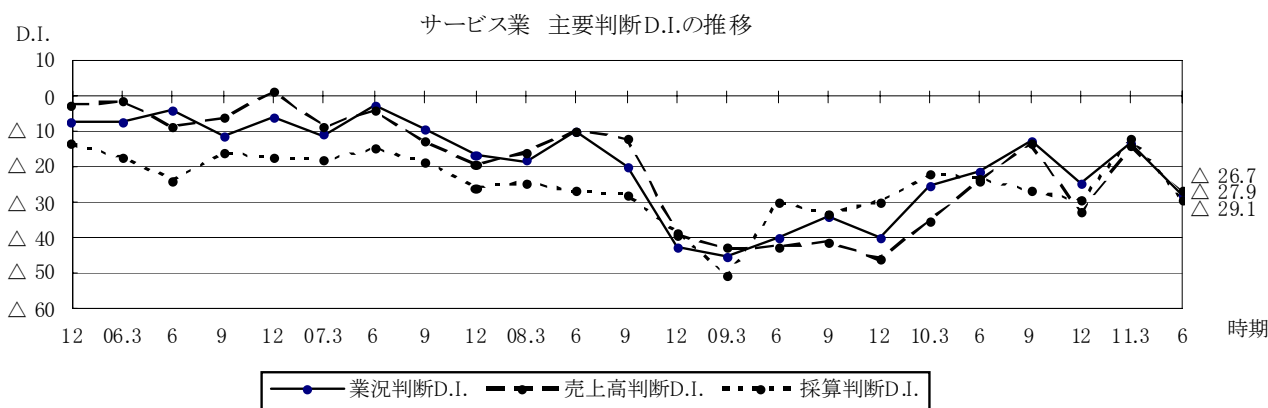
1. 業況

今期のサービス業の業況判断D.I.は△27.9となり、前期(2011.1～3:△12.9)との比較では 15.0 ポイント、前年の同時期(2010.4～6:△21.2)との比較では 6.7 ポイント悪化となりました(中小企業基盤整備機構が実施した日本商工会議所の実査による全国調査との比較でも、当地の業況判断D.I.は全国値を13.3ポイント上回り、また、他の全ての判断項目でも全国値を上回る結果となりました)。また、客単価を除く他の全ての判断項目も前期比悪化となりました。

来期は、資金繰り、客単価、従業員増減で D.I.値は悪化する予定ですが、他の項目では改善となる見通しであります。

(対前年同期比判断D.I.)

	前 期	今 期	来期見通し	全 国 調 査
業 況	△12. 9	△27. 9	△25. 6	△41. 2
売 上 高	△14. 1	△26. 7	△24. 4	△42. 8
資 金 繰 り	△9. 5	△15. 3	△17. 9	△29. 5
採 算	△11. 9	△29. 1	△28. 2	△43. 7
客 単 価	△23. 5	△19. 8	△20. 0	△32. 3
仕 入 単 価	7. 2	24. 1	12. 2	25. 2
従業員増減	1. 2	△1. 2	△3. 6	△7. 9



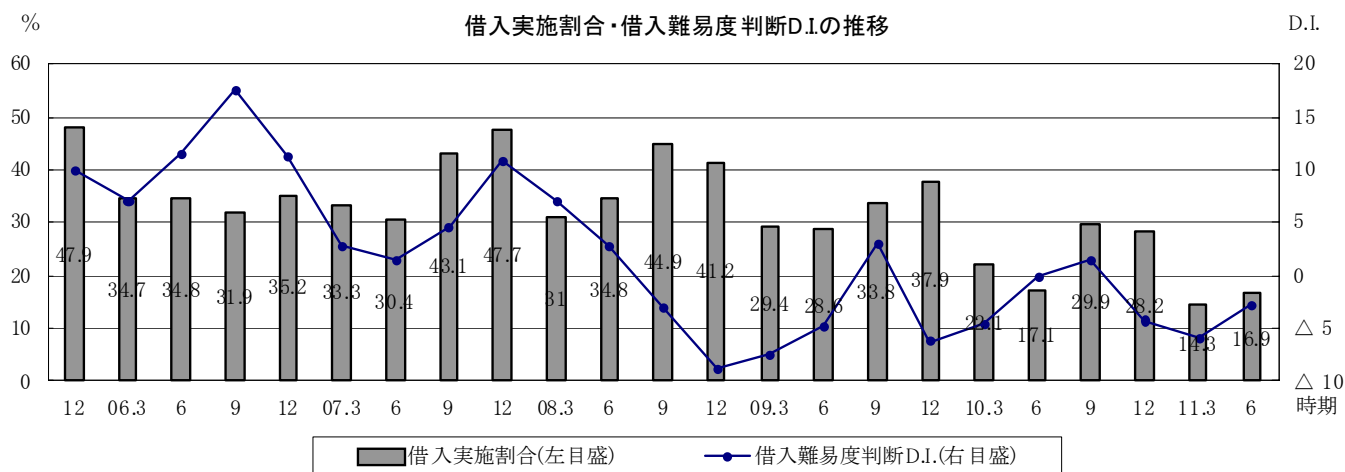
2. 借入金の状況

今期借入を実施した企業の割合は 16.9%と、前年の同時期(2010. 4～6:17.1%)と比較して 0.2 ポイント減少しました。来期借入を予定する企業の割合は 22.5%と、今期より 5.6 ポイント増加する見込です。

また、今期の借入難易度判断 D.I.は△2.8 で、前年の同時期(0.0)との比較では 2.8 ポイント低下し、借入を困難と判断する企業の割合が増加しております。

	前 期	今 期	来 期 予 定
借 入 の 実 施	14. 3%	16. 9%	22. 5%

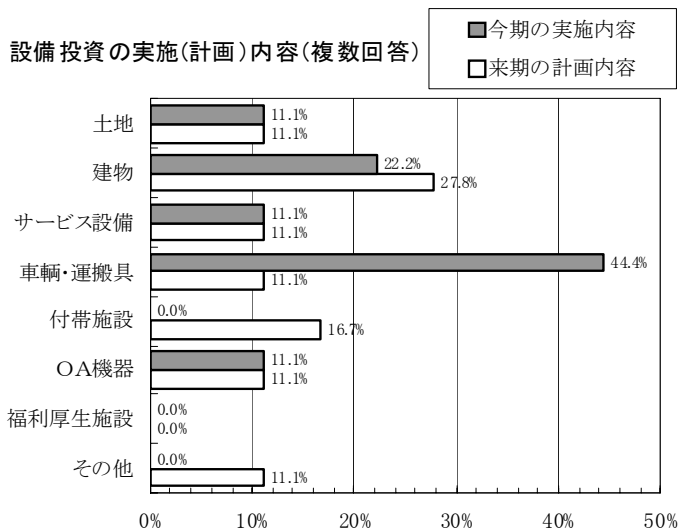
借 入 難 易 度 判 断 D . I .	△2. 8
-----------------------	-------



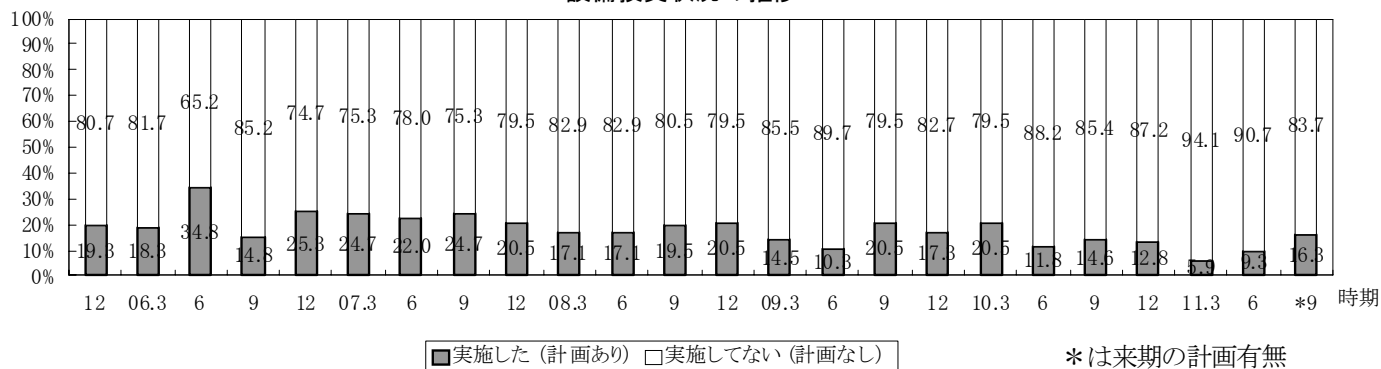
3. 設備投資の状況

今期、設備投資を実施した企業の割合は 9.3%と前期(5.9%)比 3.4 ポイント増加しました。設備投資の内訳は、車輛・運搬具が 44.4%、建物が 22.2%、土地、サービス設備、OA 機器が各々 11.1%となりました。

来期につきましては、設備投資を計画する企業の割合は 16.3%で、今期と比較して 7.0 ポイント増加する予定です。設備投資の内訳は、建物が 27.8%、付帯施設が 16.7%、土地、サービス設備、車輛・運搬具、OA 機器、その他が各々 11.1%となっております。



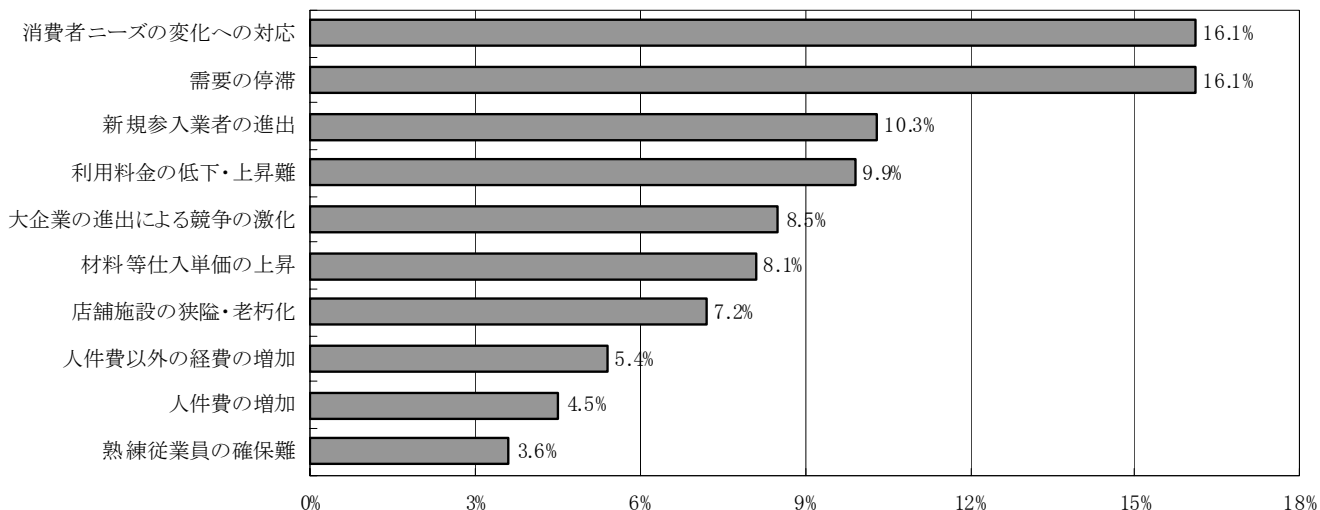
設備投資状況の推移



4. 経営上の問題点

経営上の問題点では、第1位が「消費者ニーズの変化への対応」と「需要の停滞」でそれぞれ 16.1%、第3位が「新規参入業者の進出」で 10.3%という結果になりました。

今期直面している経営上の問題点(複数回答、上位10位)

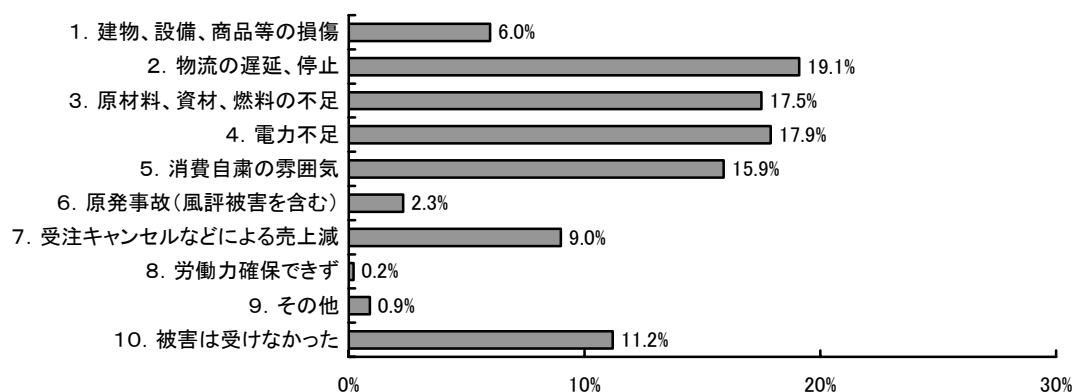


「東日本大震災からの復興と中小企業」

問1. 貴社では、3月11日に発生した東日本大震災で直接的、もしくは間接的に被害を受けましたか。被害を受けた方は、1～9の中から特に影響が大きかったものを最大3つまでお答えください。被害を受けていない方は、10を選択してください。

- | | |
|-----------------|--------------------|
| 1. 建物、設備、商品等の損傷 | 6. 原発事故（風評被害を含む） |
| 2. 物流の遅延、停止 | 7. 受注キャンセルなどによる売上減 |
| 3. 原材料、資材、燃料の不足 | 8. 労働力確保できず |
| 4. 電力不足 | 9. その他（ ） |
| 5. 消費自粛の雰囲気 | 10. 被害は受けなかった |

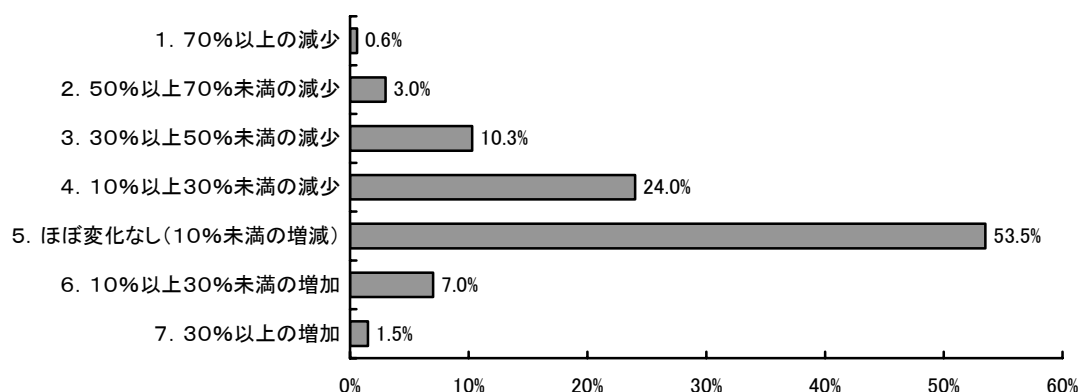
（東日本大震災の被害）



問2. 貴社における今期（4～6月）の売上は、仮に震災がなかった場合（例年の4～6月）と比較して、どの程度変化しましたか。次の1～7の中からお答えください。

- | | |
|------------------|---------------------|
| 1. 70%以上の減少 | 5. ほぼ変化なし（10%未満の増減） |
| 2. 50%以上70%未満の減少 | 6. 10%以上30%未満の増加 |
| 3. 30%以上50%未満の減少 | 7. 30%以上の増加 |
| 4. 10%以上30%未満の減少 | |

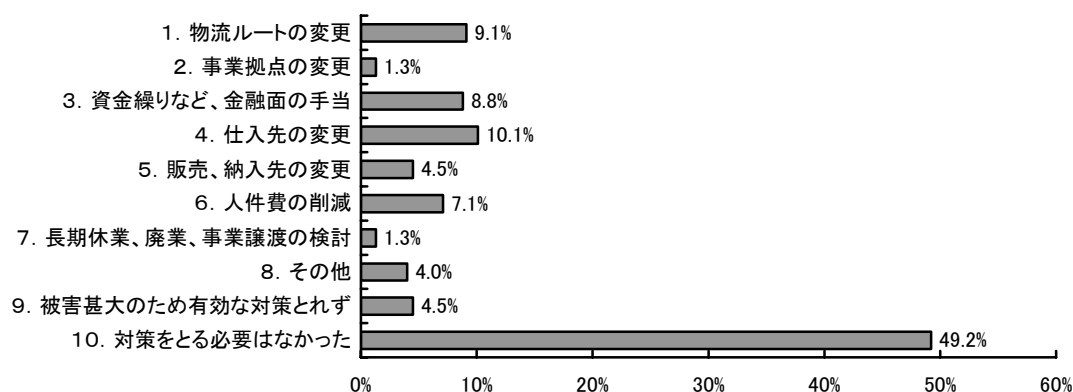
（売上の変化）



問3. 貴社では、大震災を受けてどのような対応をとりましたか。次の1～9の中から最大3つまでお答えください。
なお、被害が軽微だったために対策をとる必要がなかった方は10を選択してください。

- | | |
|------------------|--------------------|
| 1. 物流ルートの変更 | 6. 人件費の削減 |
| 2. 事業拠点の変更 | 7. 長期休業、廃業、事業譲渡の検討 |
| 3. 資金繰りなど、金融面の手当 | 8. その他（ ） |
| 4. 仕入先の変更 | 9. 被害甚大のため有効な対策とれず |
| 5. 販売、納入先の変更 | 10. 対策をとる必要はなかった |

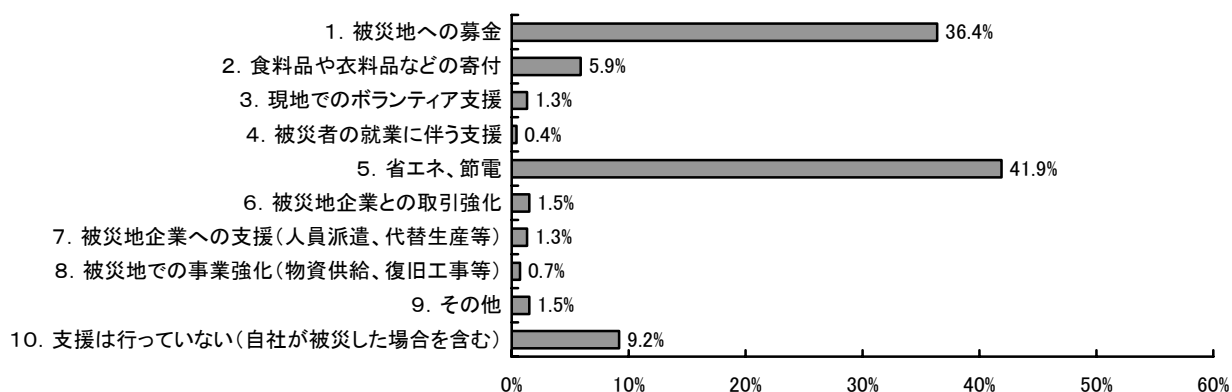
(震災の対応)



問4. 貴社では今回の大震災を踏まえ、復興を支援する取組みを行いましたか。行った方は、次の1～9の中から最大3つまでお答えください。なお、支援を行っていない方（自社が被災したために、支援の実行が不可能だった方を含みます）は10を選択してください。

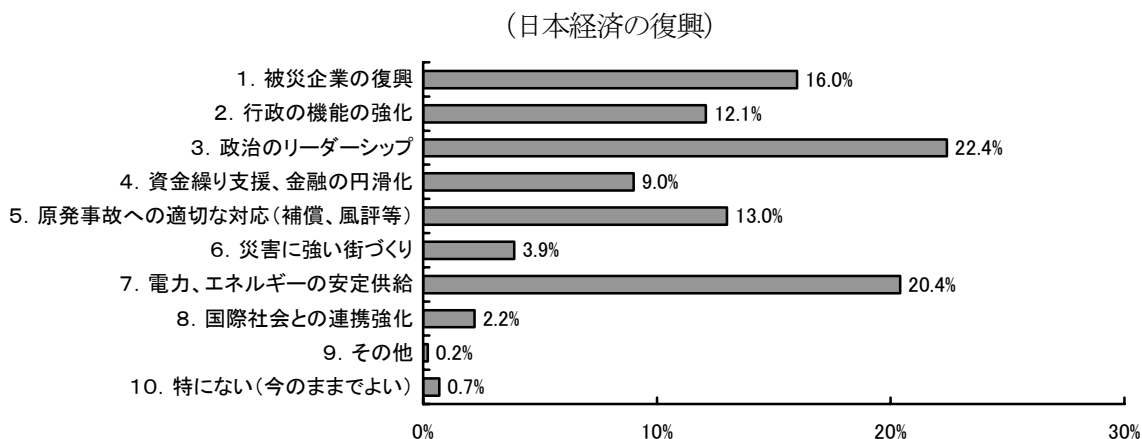
- | | |
|-----------------|-----------------------------|
| 1. 被災地への募金 | 6. 被災地企業との取引強化 |
| 2. 食料品や衣料品などの寄付 | 7. 被災地企業への支援（人員派遣、代替生産等） |
| 3. 現地でのボランティア支援 | 8. 被災地での事業強化（物資供給、復旧工事等） |
| 4. 被災者の就業に伴う支援 | 9. その他（ ） |
| 5. 省エネ、節電 | 10. 支援は行っていない（自社が被災した場合を含む） |

(復興支援の取組み)



問5. 日本経済が復興を遂げていくにあたって、今後、大切になっていくことは何だと思いますか。次の1～9の中から最大3つまでお答えください。なお、今のままでよいと思われる方は10を選択してください。

- | | |
|------------------------|-------------------|
| 1. 被災企業の復興 | 6. 災害に強い街づくり |
| 2. 行政の機能の強化 | 7. 電力、エネルギーの安定供給 |
| 3. 政治のリーダーシップ | 8. 国際社会との連携強化 |
| 4. 資金繰り支援、金融の円滑化 | 9. その他（ ） |
| 5. 原発事故への適切な対応(補償、風評等) | 10. 特にない(今のままでよい) |



調査方法について

伊勢崎商工会議所とアイオー信用金庫が共同し、伊勢崎市及び佐波郡玉村町内の企業386社にご協力いただき、面談又は聴取りによる調査の回答を集計したものです。

製造業、卸売業、小売業、建設業、サービス業の5つの業種について3か月ごとに景気の動きを調査し、最新の動きをまとめております。

独立行政法人中小企業基盤整備機構、日本商工会議所並びに信金中央金庫の実施する全国規模の調査結果を一部引用しております。また、毎回テーマを設け「特別調査」を実施しております。

今回の調査について

調 査 時 期	2011年6月
調 査 内 容	① 今期の状況:前年の同時期(2010年 4月～ 6月)と比較した今期(2011年 4月～ 6月)の状況及び前期(2011年 1月～ 3月)と比較した今期の状況。 ② 来期見通し:前年の同時期(2010年 7月～ 9月)と比較した来期(2011年 7月～ 9月)の見通し。
調 査 方 法	伊勢崎商工会議所及びアイオー信用金庫の調査員による聴取り調査
調 査 対 象 企 業 数	伊勢崎市及び佐波郡玉村町内の企業 386社
回 答 企 業 数	381社
回答企業業種別内訳	下の表のとおり

業 種	回 答 企 業 数	調 査 対 象 企 業 数	回 答 率
製 造 業	116	117	99. 1%
卸 売 業	28	29	96. 6%
小 売 業	92	93	98. 9%
建 設 業	59	61	96. 7%
サ ー ビ ス 業	86	86	100. 0%
合 計	381	386	98. 7%

調査結果の分析について

調査結果の分析には、判断指数(Diffusion Index－D.I.)を用いております。この判断指数(D.I.)とは、「良い」とする回答数から「悪い」とする回答数を引き、全体に占める割合を算出したもので、この指数の変動により、景気の動いている方向を判断するために用いられます。

集計結果 (2011. 4~6月期)

(単位:%)

		今 期 の 状 況								来 期 見 通 し			
		対 前 年 同 期 比				対 前 期 比				対 前 年 同 期 比			
		良 い	不 変	悪 い	D.I.	良 い	不 変	悪 い	D.I.	良 い	不 変	悪 い	D.I.
全業種	業 況	12.6	46.5	40.9	△ 28.3	12.3	50.1	37.6	△ 25.3	7.4	58.3	34.3	△ 26.9
	売 上	14.4	40.4	45.1	△ 30.7	15.1	42.7	42.2	△ 27.2	8.4	53.8	37.7	△ 29.3
	採 算	5.3	57.5	37.2	△ 31.9					2.1	66.7	31.2	△ 29.1
	従業員増減	9.0	74.5	16.5	△ 7.4					4.1	87.3	8.6	△ 4.6
	借入難易度					8.5	78.1	13.4	△ 4.9				
製造業	業 況	18.1	37.9	44.0	△ 25.9	16.1	45.5	38.4	△ 22.3	11.2	54.3	34.5	△ 23.3
	売 上	19.0	33.6	47.4	△ 28.4	14.3	42.9	42.9	△ 28.6	12.9	50.9	36.2	△ 23.3
	資 金 繰 り	4.3	67.2	28.4	△ 24.1	2.8	73.4	23.9	△ 21.1	2.6	71.6	25.9	△ 23.3
	採 算	8.6	48.3	43.1	△ 34.5					3.5	66.1	30.4	△ 27.0
	原材料単価	1.7	63.5	34.8	△ 33.0					2.6	64.3	33.0	△ 30.4
	原材料在庫	3.5	74.8	21.7	△ 18.3					4.3	78.3	17.4	△ 13.0
	従業員増減	15.7	72.2	12.2	3.5					7.0	82.6	10.4	△ 3.5
	設備操業率	11.2	56.0	32.8	△ 21.6					6.0	66.4	27.6	△ 21.6
	借入難易度					5.9	78.2	15.8	△ 9.9				
卸売業	業 況	14.3	42.9	42.9	△ 28.6	14.8	37.0	48.1	△ 33.3	3.6	64.3	32.1	△ 28.6
	売 上	14.3	35.7	50.0	△ 35.7	18.5	29.6	51.9	△ 33.3	7.1	50.0	42.9	△ 35.7
	資 金 繰 り	7.1	64.3	28.6	△ 21.4	7.7	69.2	23.1	△ 15.4	0.0	77.8	22.2	△ 22.2
	採 算	3.6	64.3	32.1	△ 28.6					0.0	71.4	28.6	△ 28.6
	売上単価	7.1	60.7	32.1	△ 25.0					10.7	64.3	25.0	△ 14.3
	仕入単価	14.3	53.6	32.1	△ 17.9					10.7	64.3	25.0	△ 14.3
	在庫数量	7.4	70.4	22.2	△ 14.8					3.7	77.8	18.5	△ 14.8
	従業員増減	0.0	88.9	11.1	△ 11.1					0.0	92.6	7.4	△ 7.4
	借入難易度					22.7	59.1	18.2	4.5				
小売業	業 況	7.6	41.3	51.1	△ 43.5	6.6	49.5	44.0	△ 37.4	3.3	54.9	41.8	△ 38.5
	売 上	9.8	29.3	60.9	△ 51.1	13.5	37.1	49.4	△ 36.0	2.2	48.4	49.5	△ 47.3
	資 金 繰 り	1.1	71.4	27.5	△ 26.4	1.2	76.7	22.1	△ 20.9	1.1	80.0	18.9	△ 17.8
	採 算	1.1	54.4	44.4	△ 43.3					1.1	61.8	37.1	△ 36.0
	売上単価	3.3	51.1	45.7	△ 42.4					2.2	53.8	44.0	△ 41.8
	仕入単価	17.4	63.0	19.6	△ 2.2					18.7	61.5	19.8	△ 1.1
	在庫数量	5.5	65.9	28.6	△ 23.1					4.4	70.0	25.6	△ 21.1
	従業員増減	2.2	87.6	10.1	△ 7.9					1.1	92.0	6.8	△ 5.7
	借入難易度					7.4	80.2	12.3	△ 4.9				
建設業	業 況	18.6	52.5	28.8	△ 10.2	11.9	59.3	28.8	△ 16.9	10.3	62.1	27.6	△ 17.2
	売 上	18.6	55.9	25.4	△ 6.8	18.6	47.5	33.9	△ 15.3	12.1	58.6	29.3	△ 17.2
	資 金 繰 り	5.1	74.6	20.3	△ 15.3	1.7	79.3	19.0	△ 17.2	5.2	79.3	15.5	△ 10.3
	採 算	8.5	67.8	23.7	△ 15.3					3.4	69.0	27.6	△ 24.1
	受 注 額	19.0	53.4	27.6	△ 8.6					8.8	66.7	24.6	△ 15.8
	材 料 単 価	51.7	48.3	0.0	51.7					40.4	59.6	0.0	40.4
	従業員増減	5.1	78.0	16.9	△ 11.9					3.5	87.7	8.8	△ 5.3
	借入難易度					7.4	83.3	9.3	△ 1.9				
サービス業	業 況	5.8	60.5	33.7	△ 27.9	12.8	54.7	32.6	△ 19.8	5.8	62.8	31.4	△ 25.6
	売 上	10.5	52.3	37.2	△ 26.7	14.1	49.4	36.5	△ 22.4	7.0	61.6	31.4	△ 24.4
	資 金 繰 り	5.9	72.9	21.2	△ 15.3	8.4	71.1	20.5	△ 12.0	3.6	75.0	21.4	△ 17.9
	採 算	3.5	64.0	32.6	△ 29.1					1.2	69.4	29.4	△ 28.2
	客 単 価	5.8	68.6	25.6	△ 19.8					3.5	72.9	23.5	△ 20.0
	仕入単価	28.9	66.3	4.8	24.1					20.7	70.7	8.5	12.2
	従業員増減	9.5	79.8	10.7	△ 1.2					4.8	86.7	8.4	△ 3.6
	借入難易度					9.9	77.5	12.7	△ 2.8				

いせさきフロンティア27

伊勢崎市の礎を築いた政治、経済、教育文化など、さまざまな分野のフロンティアたちにスポットをあて、その業績やエピソードを分かりやすく紹介してきましたが、今回が連載最終回となります。

魔法のような球体洗濯機の発明者

高月 照雄

大正 15 年（1926）～平成 14 年（2002）

伊勢崎市赤堀歴史民俗資料館では、「カモメホーム洗濯機」と呼ばれる球体洗濯機を展示している。この球体洗濯機は、県内の博物館や資料館では一つや二つは所蔵している生活道具である。日本だけでなく海外にも売り出された球体洗濯機を発明したのは、伊勢崎市西野町出身の高月照雄である。もしも、この洗濯機が世界中で使用されていれば、電話を発明したグラハム・ベルのように、世界史に残る大発明家と呼ばれたかもしれない。

高月は若いときから発明に凝っており、戦中は横須賀の海軍予科に入り、戦後は帰郷し 23 歳で結婚した。妻は生活のために大間々町の実家近くで食堂を始めた。高月は妻が始めた食堂の 2 階で発明に明け暮れたという。妻が病気にもかかわらず食堂を切り盛りしていたとき、食堂にあった製麺機を眺めながら「こんな風に洗濯ができれば幸せだよね」とつぶやいた。その言葉が新しい洗濯機を発明するきっかけになったという。彼は、家庭生活に必要なモノを発明するのをモットーとしていたのである。何か思い付いてはノートに書き付け、コタツに入ってもメモを離さなかったという。発明に明け暮れた人生を送った高月であった。

昭和 30 年代は住宅にコンセントが少ない時代で、直径約 30 センチの球形の手回し洗濯機は画期的な発明とされた。高月が発明した洗濯機は、高崎の林製作所が実用化して売り出した。しかし、わずかに先行していた攪拌式の電気洗濯機に押され、昭和 38 年（1963）には生産を中止せざるをえなかった。洗濯機という生活道具は、昭和 20 年代に電気洗濯機が登場し、昭和 32 年には普及率が 20% を超えた。庶民の欲しがる「三種の神器」は白黒テレビ、電気洗濯機、電気冷蔵庫で、これがあれば中流生活とされた。

《参考文献》

「世界を席卷 謎の物体スプートニク」『上州風』10 号 上毛新聞社 2002 年

【連載を終えるにあたって】

本シリーズは最終回で執筆者を明かすという約束で、無記名でスタートしました。平成 16 年の第 5 号から連載を開始しましたが、「景気動向調査」という専門誌に掲載されたこともあり、新鮮な印象を与えていたようで、執筆者冥利に尽きるものがあります。私の勤務していた資料館では、この連載をベースに企画展「いせさきフロンティア—ふるさとの歴史と文化—」を開催させていただきました。長い間のご愛読に感謝申し上げます。

（元伊勢崎市赤堀歴史民俗資料館長 板橋春夫）



球体洗濯機

伊勢崎佐波地区 景気動向調査 No.33

発行 伊勢崎商工会議所 相談課

群馬県伊勢崎市昭和町3919

TEL 0270-24-2211

<http://www.isesaki-cci.or.jp>

アイオー信用金庫 総合企画部

群馬県伊勢崎市中央町20番17号

TEL 0270-30-5000 (本部代表)

<http://www.io-web.jp>

このレポートは、調査時点における当金庫及び当商工会議所の見解をまとめたもので、情報提供を目的としております。また、当金庫及び当商工会議所が信頼できると判断した情報やデータに基づいてこの資料は作成しておりますが、この情報の正確性・安全性等について当金庫及び当商工会議所が保証するものではありません。

このレポートの活用に関しては何の制限もございませんが、施策の決定や実行などの最終決定は、ご自身の判断でなされますようお願いいたします。